



令和4年10月分貿易概況（速報）

東京港

輸出は過去最大、輸入は10月としては過去最大

輸出は 7,447億円、前年同月比 26.2%増
 半導体等製造装置、科学光学機器及び自動車の部分品等が増加
 輸入は 1兆4,120億円、前年同月比 42.6%増
 衣類・同附属品、電算機類及びはき物等が増加

成田空港

輸出は10月としては過去最大、輸入は過去最大

輸出は 1兆3,841億円、前年同月比 20.5%増
 医薬品、科学光学機器及び非鉄金属等が増加
 輸入は 2兆653億円、前年同月比 43.5%増
 医薬品、IC及び通信機等が増加

羽田空港

輸出は8ヵ月連続の増加、輸入は3ヵ月連続の減少

輸出は 282億円、前年同月比 15.7%増
 再輸出品、科学光学機器及び有機化合物等が増加
 輸入は 701億円、前年同月比 1.3%減
 航空機類、通信機及び金属製品等が減少

（単位：億円）

	輸出額			輸入額			差引額
	価額	伸率	全国比	価額	伸率	全国比	価額
東京港	7,447	26.2% 25ヵ月連続の増加	8.3%	14,120	42.6% 21ヵ月連続の増加	12.6%	▲6,673 253ヵ月連続の輸入超過
成田空港	13,841	20.5% 20ヵ月連続の増加	15.4%	20,653	43.5% 24ヵ月連続の増加	18.5%	▲6,812 133ヵ月連続の輸入超過
羽田空港	282	15.7% 8ヵ月連続の増加	0.3%	701	▲1.3% 3ヵ月連続の減少	0.6%	▲418 9ヵ月連続の輸入超過
管内	21,801	22.4% 23ヵ月連続の増加	24.2%	36,500	42.2% 22ヵ月連続の増加	32.7%	▲14,699 181ヵ月連続の輸入超過
全国	90,015	25.3% 20ヵ月連続の増加	100.0%	111,638	53.5% 21ヵ月連続の増加	100.0%	▲21,623 15ヵ月連続の輸入超過

為替レート：税関長公示レートの平均値
 令和4年10月分

米ドル換算

145.09円/米ドル

前年同月：111.42円/米ドルと比べ30.2%の円安

注1. 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額によるものである。
 東京港（東京税関本関、東京外郵便出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所）、
 成田空港（東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所）、
 羽田空港（羽田税関支署）、
 管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港（新潟税関支署、東港出張所）、直江津港（直江津出張所）、
 柏崎港（柏崎出張所）、新潟空港（新潟空港出張所）、酒田港（酒田税関支署、山形出張所）を含む。

注2. 「伸率」は対前年伸率を示す。

注3. 「過去最大」は昭和54（1979）年1月以降による。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関の資料による旨を注記して下さい。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関調査部調査統計課まで。（TEL 03-3599-6385）
3. 東京税関ホームページ <http://www.customs.go.jp/tokyo/>

●東京税関管内 令和4年10月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	1,613	17.4	7.4
主 要 品 目 2	科学光学機器	1,173	41.6	5.4
主 要 品 目 3	電気回路等の機器	684	15.3	3.1

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	科学光学機器	1,173	41.6	5.4	米国
増 加 2 位	半導体等製造装置	1,613	17.4	7.4	台湾
増 加 3 位	医薬品	536	56.5	2.5	スイス
減 少 1 位	有機化合物	202	-15.0	0.9	ドイツ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	4,282	20ヵ月連続の増加	20.7	科学光学機器
対E U(注3)	2,057	25ヵ月連続の増加	18.0	科学光学機器
対アジア	13,508	23ヵ月連続の増加	19.8	IC
対中国(注4)	6,022	28ヵ月連続の増加	9.6	
対ASEAN(注5)	3,514	20ヵ月連続の増加	24.4	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	医薬品	4,672	115.3	12.8
主 要 品 目 2	通信機	3,634	40.6	10.0
主 要 品 目 3	IC	3,006	60.0	8.2

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	4,672	115.3	12.8	ベルギー
増 加 2 位	IC	3,006	60.0	8.2	台湾
増 加 3 位	通信機	3,634	40.6	10.0	中国
減 少 1 位	航空機類	364	-56.6	1.0	フランス

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	5,124	6ヵ月連続の増加	46.1	医薬品	-842
対E U(注3)	6,397	2ヵ月連続の増加	48.6	医薬品	-4,340
対アジア	20,668	24ヵ月連続の増加	42.7	通信機	-7,160
対中国(注4)	10,922	6ヵ月連続の増加	37.2		-4,900
対ASEAN(注5)	5,306	21ヵ月連続の増加	48.3		-1,792

●東京港 令和4年10月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	595	30.2	8.0
主 要 品 目 2	自動車の部分品	333	28.8	4.5
主 要 品 目 3	プラスチック	329	17.2	4.4

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	半導体等製造装置	595	30.2	8.0	台湾
増 加 2 位	科学光学機器	211	90.4	2.8	米国
増 加 3 位	自動車の部分品	333	28.8	4.5	インドネシア
減 少 1 位	有機化合物	48	-18.9	0.6	米国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	1,764	3ヵ月連続の増加	13.8	電算機類
対E U(注3)	812	5ヵ月連続の増加	42.2	半導体等製造装置
対アジア	4,214	25ヵ月連続の増加	23.8	電気回路等の機器
対中国(注4)	1,921	5ヵ月連続の増加	6.8	
対ASEAN(注5)	1,210	20ヵ月連続の増加	37.6	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	衣類・同附属品	1,286	43.8	9.1
主 要 品 目 2	電算機類	716	63.8	5.1
主 要 品 目 3	魚介類・同調製品	590	35.1	4.2

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	衣類・同附属品	1,286	43.8	9.1	中国
増 加 2 位	電算機類	716	63.8	5.1	中国
増 加 3 位	はき物	339	139.5	2.4	ベトナム
減 少 1 位	IC	464	-25.1	3.3	台湾

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	1,378	6ヵ月連続の増加	40.2	原動機	386
対E U(注3)	1,553	8ヵ月連続の増加	62.3	たばこ	-741
対アジア	9,998	21ヵ月連続の増加	44.7	電算機類	-5,784
対中国(注4)	5,784	6ヵ月連続の増加	48.6		-3,863
対ASEAN(注5)	2,707	12ヵ月連続の増加	66.2		-1,496

●成田空港 令和4年10月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	半導体等製造装置	1,011	10.9	7.3
主 要 品 目 2	科学光学機器	928	29.7	6.7
主 要 品 目 3	IC	572	22.8	4.1

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	461	119.0	3.3	スイス
増 加 2 位	科学光学機器	928	29.7	6.7	台湾
増 加 3 位	非鉄金属	448	31.2	3.2	韓国
減 少 1 位	電気計測機器	455	-9.3	3.3	ドイツ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	2,458	20ヵ月連続の増加	29.9	科学光学機器
対E U(注3)	1,209	20ヵ月連続の増加	4.6	科学光学機器
対アジア	8,909	23ヵ月連続の増加	17.3	I C
対中国(注4)	3,930	20ヵ月連続の増加	10.1	
対ASEAN(注5)	2,174	23ヵ月連続の増加	17.0	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	医薬品	4,434	116.6	21.5
主 要 品 目 2	通信機	3,311	37.1	16.0
主 要 品 目 3	IC	2,498	101.0	12.1

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	医薬品	4,434	116.6	21.5	ベルギー
増 加 2 位	IC	2,498	101.0	12.1	台湾
増 加 3 位	通信機	3,311	37.1	16.0	中国
減 少 1 位	航空機類	79	-82.6	0.4	フランス

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	3,380	4ヵ月連続の増加	50.2	医薬品	-922
対E U(注3)	4,617	2ヵ月連続の増加	55.7	医薬品	-3,408
対アジア	9,988	25ヵ月連続の増加	38.8	通信機	-1,079
対中国(注4)	4,874	6ヵ月連続の増加	26.3		-944
対ASEAN(注5)	2,247	17ヵ月連続の増加	22.7		-73

●羽田空港 令和4年10月速報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	再輸出品	162	72.3	57.5
主 要 品 目 2	科学光学機器	33	74.8倍	11.8
主 要 品 目 3	医薬品	18	-79.2	6.4

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増 加 1 位	再輸出品	162	72.3	57.5	中国
増 加 2 位	科学光学機器	33	74.8倍	11.8	中国
増 加 3 位	有機化合物	5	80.4	1.9	スイス
減 少 1 位	医薬品	18	-79.2	6.4	米国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	51	4ヵ月ぶりに減少	-47.1	医薬品
対E U(注3)	26	3ヵ月ぶりに増加	139.7	科学光学機器
対アジア	193	19ヵ月連続の増加	57.5	再輸出品
対中国(注4)	127	20ヵ月連続の増加	66.4	
対ASEAN(注5)	56	6ヵ月連続の増加	51.9	

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主 要 品 目 1	航空機類	265	-28.0	37.9
主 要 品 目 2	バッグ類	74	29.2	10.6
主 要 品 目 3	科学光学機器	69	-1.9	9.9

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減 少 1 位	航空機類	265	-28.0	37.9	フランス
減 少 2 位	通信機	1	-82.8	0.1	フィリピン
減 少 3 位	金属製品	4	-47.5	0.6	米国
増 加 1 位	IC	45	174.1	6.4	シンガポール

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	336	3ヵ月ぶりに増加	46.8	航空機類	-285
対E U(注3)	220	6ヵ月連続の減少	-40.1	航空機類	-194
対アジア	84	5ヵ月連続の増加	37.0	通信機	109
対中国(注4)	4	3ヵ月連続の減少	-58.6		123
対ASEAN(注5)	74	5ヵ月連続の増加	54.8		-18

(注) 1 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。

2 伸率及び増加・減少は全て対前年比による。

3 対EUの貿易額は27カ国の実績。

4 対中国の貿易額には対香港及び対マカオの貿易額を含む。

5 対ASEANの貿易額は10カ国の実績。

6 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に設置された貨物の通関額によるものである。

東京港(東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所)、

成田空港(東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所)、

羽田空港(羽田税関支署)、

管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港(新潟税関支署、東港出張所)、直江津港(直江津出張所)、柏崎港(柏崎出張所)、新潟空港(新潟空港出張所)、酒田港(酒田税関支署、山形出張所)を含む。